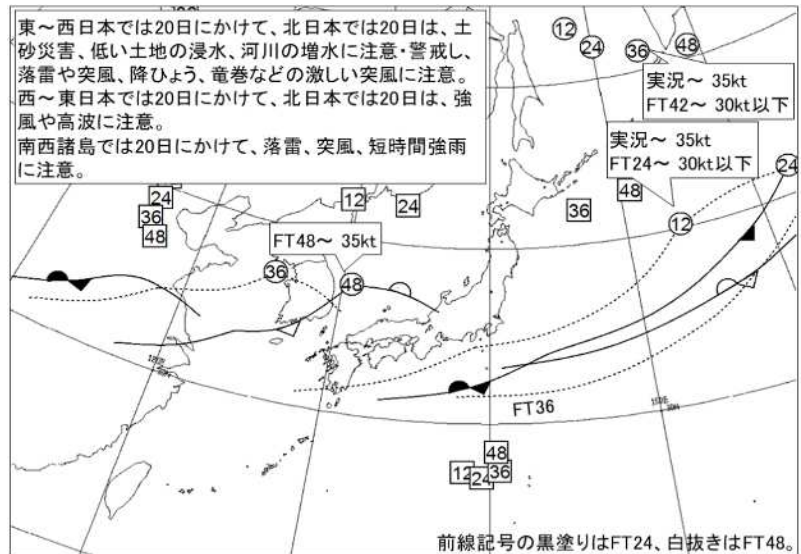


短期予報解説資料 2025年9月18日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 日本の南の高気圧に覆われて、東日本では気温が上昇し、猛暑日となっている所がある。
- ② 500hPa 5760m付近で -12°C 以下の寒気を伴うトラフが朝鮮半島付近を東進。
- ③ 500hPa 5820m付近の強風軸に対応して華中～本州付近～日本の東にのびる前線上の三陸沖を低気圧が東北東進。前線近傍では、雷を多数検知、激しい雨を解析。また、気圧の傾きが大きくなり、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなっている所がある。
- ④ 日本の南の上層寒冷低気圧(UCL)と南シナ海を西北西進する熱帯低気圧の影響で、南西諸島では非常に激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項③の前線は、18日は西～東日本の太平洋側に南下、19日は日本の南に、20日は日本の東に停滞する。また、1項②の朝鮮半島付近のトラフが、19日朝にかけて本州付近を通過する。低気圧や前線に向かう下層暖湿気や日中の昇温、上空寒気の影響で、東～西日本では19日にかけて、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。また、西～東日本では19日にかけて気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き波が高くなる所がある。強風や高波に注意。
- ② 1項①の高気圧は、20日にかけて日本の南にほとんど停滞。西日本や南西諸島を中心に、晴れて気温が上昇し、真夏日となる所がある。熱中症などの健康管理に留意。
- ③ 19日は、500hPa 5760m付近で -9°C 以下の寒気を伴うトラフに対応して、朝までに華北付近で前線が発生、夜までに前線上に発生する低気圧が朝鮮半島付近に進む。また、20日は、この低気圧が発達しながら日本海を東北東に進む。
- ④ 日中の昇温や高気圧縁辺を回る下層暖湿気の影響で19日は西日本を中心に、2項③の低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で20日は西～北日本で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。また、低気圧周辺で気圧の傾きが大きくなり、北～西日本では20日は、強い風が吹き、波が高くなる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風、降ひょう、強風や高波に注意。
- ⑤ 南西諸島では20日にかけて、南シナ海やフィリピンの東の熱帯低気圧周辺の下層暖湿気や1項④のUCLの影響で、大気の状態が不安定となる所がある。落雷、突風、短時間強雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項【量的予報等】
- ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。
 - ② 波浪(明日まで)：伊豆諸島・九州北部3m。
 - ③ 高潮(明日まで)：東～西日本で、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。